



「もうすぐ1年生」体験入学推進事業

京都府教育委員会

「もうすぐ1年生」体験入学推進事業は、小学校入学後の生活・学習習慣の変化に対応することができない、いわゆる「小1プロブレム」の児童が増加していることを踏まえ、保育所、幼稚園からの小学校への円滑な接続を図るため、地域の実情に合わせて、連続した取組や年間を通しての取組など複数回にわたる体験入学を実施する事業です。

(平成24年1月、「京都創発事業」として認定)



「もうすぐ1年生」体験入学推進事業の4つのプログラム

4つのプログラムを組み合わせたり、地域や学校が独自に考えたりしたプログラムもあります。

小学校体験型

小学校において、体験入学を開催し、幼児・保護者が参加する。

- 学校探検
- 体験授業
- 給食体験
- 登下校体験
- 栄養指導



出前授業型

小学校教員が、幼稚園・保育所等に出向き、幼児に体験授業を行う。

- 言葉遊び
- 数遊び
- 生活科・図工・体育・音楽
- 本の読み聞かせ
- 委員会・クラブ活動の発表



幼小連携・保小連携型

小学校の児童と幼稚園・保育所の幼児の交流を通して、小学校体験をする。

- 生活科・図工・体育等の合同学習
- 昼休みの遊び
- 田植えや稲刈りの農業体験
- 昔遊び
- 花の苗や球根植え



小学校行事参加型

小学校行事に幼児・保護者を招待し、小学校体験をする。

- 学校公開
- 学習発表会
- ふれあいフェスタ
- 文化鑑賞会
- 防犯避難訓練



「もうすぐ1年生」体験入学推進事業 Q&A

Q 今までの「体験入学」とどう違うのですか？

A 今までの「体験入学」は、1時間から半日くらいまでで回数も1回程度にとどまっていた。この事業の「体験入学」は、1回限りのイベント的な体験入学ではなく、連続して行ったり、年間を通して複数回行ったりする体験入学です。

Q 事業を実施していて、子どもたちにはどんな効果がありますか？

A 参加した子どもたちは、小学校の生活に親しみ、学校のルールを学んだり、小学生との交流を通して、お兄さん、お姉さんとも仲良くなったりしています。このことは、入学後の小学校生活にスムーズにつながっていきます。小学校と幼稚園、保育所の先生たちの交流も深まり、幼小の接続を考えたカリキュラムの作成にも取り組み始めています。

Q 保護者は、どんな感想をもたれていますか？

A 子どもたちが楽しく体験している様子を見ることで、「入学に対する不安感が和らいだ。」「保護者同士が知り合う場となり安心感が生まれた。」など取組の良さを実感したとの感想が寄せられています。

Q 実施している小学校は、何校ですか？

A 24年度は、府内（京都市を除く）の97校で実施しています。連携している幼稚園は46園、保育所は93園です。それぞれ地域や学校によって実情も違うので、事業の成果を広め徐々に実施校を増やしていきます。PTAの「親のための応援塾」と連携したプログラムを進めている小学校は、50校あります。